

経済同友会

11

November 2012
No.751

Contents

■特集 震災復興の今 02

■Close-up提言 10 人財育成・活用 委員会 報告書 経済成長の実現に向けた グローバル人財市場の 構築を目指す人財開国を —外国籍高度人財・留学生のさらなる獲得・活用の促進—

■Doyukai Report 11 欧州委員会 ドイツ・ミッション報告 ドイツの経済成長と産業競争力の強さを探る

パスカル・ラミー 世界貿易機関(WTO) 13 事務局長との意見交換会

朝日地球環境フォーラム 14 長島徹副代表幹事登壇

■Seminar 16 第1200回会員セミナー 「Europe's Role in the World Economy」 ローランド・ベルガー 氏 ローランド・ベルガー・ストラテジー・コンサルティング 創業者 名誉会長

第1201回会員セミナー 17 「政権交代とは何だったのか」 —民意に基づく政治を再考する— 山口 二郎 氏 北海道大学大学院法学研究科 教授

第117回TCERセミナー 18 「東アジア・アジア太平洋の広域FTA形成と日本」 木村 福成 氏 東京経済研究センター 代表理事、慶應義塾大学経済学部 教授、 東アジア・アセアン経済研究センター チーフエコノミスト

トップ・アスリート就職支援ナビゲーション 19 「アスナビ」連携会議

■Column 01 巻頭言 木村 恵司 「教育雑感」

リレートーク 奥井 規晶 09 「趣味が高じて葉巻の『家元』に」

Global View 住谷 栄之資 15 「近代資本主義の時代から、新しい時代を考える」

TOKYO2020 夢の力 新浪 剛史 20 「『復活ニッポン』のオリンピックへ」

私の思い出写真館 藤重 貞慶 26 「ゴールデンルール」

新入会員紹介 21

おくやみ 細谷 英二 元副代表幹事を偲んで 22

— 今月の表紙：世界の文様シリーズ —

【カザフスタン／アラベスク文様】

カザフ民族の伝統文様。国旗にも配され、民族衣装にもよく使われる独特な柄です。パルメット、いわゆる植物性文様の一つです。起源は古代エジプトといわれ、日本では唐草模様として発展しました。

巻頭言

副代表幹事
震災復興委員会 委員長

木村 恵司

三菱地所
取締役会長



「教育雑感」

昨今「いじめ」の問題が取りざたされている。

昔から、多かれ少なかれ学校というコミュニティでは似たようなトラブルがあったと思う。学校は多様性に富んだ子どもたちの集合体である。さまざまな親を持つ子どもたちが、思春期が終わる高校生活まで、このダイバーシティの中で多感な心に揺れながら、それぞれが悩んでいるのではないと思う。ちょっとしたきっかけでいじめる側にもなるし、いじめられる側にもなる。

団塊世代では一クラス50～60人であったが、今でも30人前後の学校が多い。一年の1／2程度しか過ごさない学校で、教師が、集団の中で何が起きているのか、放課後や休日に何があったのかを把握するのには限界がある。

元来、教育は「家庭」「学校」「社会」が支える「協育」であるべきである。

学校では「知識(ナレッジ)」「技術(スキル)」等を学べる。倫理、道徳、思いやり等の心、精神については家庭で身に付けることが多い。子どもは親の一挙手一投足を見ている。親が自分の子どもを人間性豊かな大人に育てる責任は重い。

最近よく聞く「モンスターペアレント」は、教育問題について、学校側に責任を押し付ける。学校側の対応に問題がないとは限らないが、双方連携してそれぞれの役割を果たす必要があろう。親は常に子どもとコミュニケーションを取り、悩みを共有し、その解決を図る。それでも反抗期の子どもは親に悪態をつき、罵詈雑言を浴びせるだろう。普段忙しい父親も時にスポーツと一緒に汗をかくなど、共通の楽しみを見つけることも大切である。

以前は「社会」との接点は地域社会であった。近所の“うるさい”おじさんに、いたずらをすれば怒られた。今はその接点が希薄である。代わりにTV、TVゲーム、インターネットという情報源がある。残酷なアニメゲーム、小突いたり殴ったりのお笑い番組、私利私欲にかられた大人たちの惨状。さまざまな情報がTV等から一方的に発信され、子どもの頭にインプットされる。子どもは大人の動向に敏感である。業務向上のため、売らんがために何をやってもいいわけではない。子どもたちに与える影響も考えて、自分を律し、人間力を高める。子育てが終わったとはいえ、われわれも「協育」の担い手であることを忘れてはならない。